

【2026 年度/教養科目領域/基盤科目群】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
プレゼンテーション演習	150301	必修	1	1	後期 (隔週)
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
桑原 修	B303	o.kuwa		木曜日 13:00~15:00	
授業の目的・概要	本講義は大学での学修や将来の社会生活において必要となる基礎的なプレゼンテーション能力 (テーマに対する情報収集や議論、発表スキルなど) の習得を目的とする。聞き手に対しグループごとの考えやアイデアを分かりやすく論理的に説明する能力 (伝達技法) を身に付けるとともに、他グループの発表を評価し建設的な意見を述べる態度を養うことを目標とする。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	プレゼンの基本構成 (序論・本論・結論)、聞き手に合わせた話し方や説明方法、資料作成 (スライドの構成・視覚表現など)、発表時の姿勢や時間管理、および質疑応答に備えた練習をグループ単位で繰り返すこと。基礎演習で学んだ知識や技法について各自復習すること。				
教科書	特に指定なし				
参考書	「大学生学びのハンドブック (6 訂版)」を使用 (基礎演習の指定教科書を併用)				
外部教材	特に指定なし				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	明確な主張を持ち、論理的に構成された内容で表現することができる。		HSU (2)、(5)		
②	視覚的効果の高いデジタルツールを使用して資料を作成することができる。		HSU (2)、(6)		
③	役割を分担し他者と協働しながら作業に取り組むことができる。		HSU (4)、(5)		
④	他者の意見を尊重し自らの改善点を評価することができる。		HSU (1)、(5)、(6)		
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション: 基礎演習で学んだ知識や技法をもとにプレゼンの目的やプレゼンの基礎 (構成、時間配分等)、スライド技法 (フォント、色使い、レイアウト、図表等) および資料の引用・整理の仕方等について確認する。	講義・演習	基礎演習の指定教科書 (「大学生学びのハンドブック (6 訂版)」) を通じてプレゼンの基礎を確認する。	3.75	
2	グループ分けを行い、それぞれの役割分担と指定されたテーマをもとに図書館やネットなどで情報を収集するとともにストーリーを構築する。	演習・GW	プレゼンの流れや技法について確認し、テーマに即した情報収集とスライドを作成する。	3.75	
3	グループ単位でテーマに応じた情報収集を協働して行う。各自の役割などグループ内で確認し、スライド作成、原稿や質疑応答に係る資料等を作成するなど発表の体裁を整える。まとめ方やスライド作成の仕方について確認する。	演習・GW	グループ内でスライドの仕上がり状況や原稿内容等を確認する。	3.75	
4	第 1 回発表会 (発表時間: 10 分) まとめ方やスライドの作り方を中心に講評する。	演習・GW	発表会で得られた指摘を受け、必要に応じて修正する。グループ内で進捗状況を確認する。	3.75	
5	スライドと原稿の修正、質疑応答に係る資料等の確認およびグループ内における相互の役割について再度確認し、第 2 回発表会に備える。	演習・GW	グループ内で修正版のスライドや原稿内容等について再度確認し情報を共有する。	3.75	
6	第 2 回発表会 (発表時間: 10 分) 発表時間、修正版の内容、発表姿勢等について講評する。	演習・GW	発表会で得られた指摘等を受け、必要に応じて修正や調整を行い協働して最終確認する。	3.75	
7	第 3 回発表会 (最終発表) に向け体裁を整える。 スライドの発表姿勢や内容、質疑応答への対応等について最終確認し本番に備える。	演習・GW	発表内容や個々の役割分担についてグループ全員で確認し評価する。	3.75	
8	最終発表 (発表時間: 10 分) 本講義 (演習) の振り返りと総括を行い、達成度評価レポートを作成する。	演習・GW	達成度評価レポートを完成させ提出する。	3.75	
試	期末試験は行わない。 達成度評価・評価のポイント参照。				

【2026 年度/教養科目領域/基盤科目群】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	20	80	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	0	5	5	0	0	10
	思考・推論・創造する力	0	5	10	0	0	15
	協調性・リーダーシップ	0	0	10	0	0	10
	発表・表現伝達する力	0	0	20	0	0	20
	コミュニケーション力	0	0	15	0	0	15
	取組みの姿勢・意欲	0	10	10	0	0	20
	問題を発見・解決する力	0	0	10	0	0	10
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	達成度評価レポートを通じて講義に対する理解度と学びの定着度を 確認し評価する。AI の使用を禁止する。これに反する場合は評価を 減じる。				コメントを付して個人ごとに 返却する。
	②						
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
成果発表	①	✓	発表に対する取り組み姿勢と発表内容、自己評価等を総合的に評価 する。				全体的な総括をグループ単位 で行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	なし						
教員の実務経験	なし						
実践的授業の内容	プレゼンテーションの準備、実践などグループワークを中心としたアクティブラーニングを行う。						
そ の 他	本講義では基礎演習と連動しながらその付加価値としてプレゼンテーション能力の習得を目指している。 他の授業科目でもプレゼンする機会が多々あるので、その基礎となる知識や技術を本講義で身に付けること が大切である。これを身に付けるにあたっては、学生同士による日々のコミュニケーションが有効的 であることから、日々の生活の中で自身を取り巻く多くの人々との接触機会を設けるよう努めてほしい。 本講義では、やむを得ずシラバスの変更が生じる場合は、授業または Teams 等で周知する。対面授業では あるが、連絡や資料配布等に Teams を使用するので、各自必ず確認すること。						